



令和8年度

重点・重要事項 提案・要望書



令和7年8月 福井県美浜町

町政推進にかかる重点・重要事項について

日頃より、本町のまちづくり・行政運営につきまして、格別のご理解・ご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。本町では『幸せと誇り・夢と希望・地域愛あふれる 美し美浜』の実現を目指し、町民と行政による協働のまちづくりに取り組んでいるところであります。

とりわけ、北陸新幹線敦賀開業が実現し1年余りが経過したわけですが、昨年の観光入込客数は135万人と前年に比べ2割増となるなど、交流人口の拡大によるまちづくりへの手応えを実感するところであります。

また、この2月には、エネルギー基本計画が改定され、原子力の最大限の活用や、立地地域の実情に即した防災対策・地域振興を進めることなど、原子力政策の方向性が明確に示されたことから、原子力と共生するまちづくりを進める本町にとって、大きな転機になったと受け止めています。

本町では、このほか地場産業の振興や健康づくり、子ども子育て支援や人づくり施策などに鋭意取り組んでいますが、依然として少子高齢化・人口減少が進んでいます。また、立地地域における安全安心の確保に向けた、避難道路の多重化・強靱化など、多くの課題に直面しています。

つきましては、こうした本町の行政課題をご賢察いただき、次に掲げる重点・重要事項の解決につきまして、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年8月21日

福井県知事 杉本 達治 様

美浜町長 戸嶋 秀樹

令和8年度重点・重要 提案・要望事項一覧

【重点要望】

重点 1	原子力との共生に向けた取り組みについて	
	1 原子力政策について	
	2 原子力防災対策の充実強化について	
	3 地域振興について	
重点 2	持続的な観光振興と地域活性化について	
	1 広域連携による観光プロモーションの強化について	
	2 周遊観光の充実と利便性向上について	
	3 観光おもてなしの環境整備・地域資源の保全について	
	4 「観光おもてなし道路」の整備について	
	5 嶺南振興プロジェクト事業の強化について	
重点 3	地域交通の充実について	
	1 広域路線バスに係る国、県の支援について	
	2 観光路線の運行に係る県の支援について	
	3 小浜線のキャッシュレス化について	
重点 4	第二園芸カレッジの整備に伴う交流の創出について	
	1 第二園芸カレッジの整備に伴う交流の創出について	
重点 5	地域医療の格差是正について	
	1 嶺南医療圏としての機能充実について	
	2 レイクヒルズ美方病院への支援について	
	3 地域医療の充実強化について	
重点 6	国内最高峰のローイング競技拠点化について	
	1 ローイング競技拠点化に向けた施設整備について	
重点 7	史実を活かした地域活性化への支援について	
	1 史実を活かしたまちづくりと地域の伝統文化継承への支援について	
重点 8	みはまシナプスプロジェクトへの支援について	
	1 みはまシナプスプロジェクトへの支援について	

【重要要望】

重要 1	豪雨・土砂災害対策について	
	1 豪雨・土砂災害対策について	
重要 2	道路の整備について	
	1 道路の整備について	
重要 3	農業農村整備事業について	
	1 農業農村整備事業について	
重要 4	地域農業の振興に係る支援について	
	1 中山間地域の農業振興に係る支援について	
重要 5	建設発生土の活用について	
	1 北陸新幹線建設事業や舞鶴若狭自動車道 4 車線化事業に係る建設発生土の活用について	
重要 6	畜産振興に向けた総合的な支援について	
	1 嶺南広域の畜産振興に向けた総合的な支援について	
重要 7	海岸漂着ごみ対策の支援について	
	1 海岸漂着ごみ対策の支援について	

重点要望事項

【重点要望事項の内容】

1 原子力政策について

今般、閣議決定された第7次エネルギー基本計画により、改正原子力基本法やGX推進戦略などにおいて示唆されてきた新たな原子力政策の方向性が、『揺るぎないもの』になったと受け止めている。

こうした方針のもと、持続的かつ円滑に原子力政策を推進するため、下記に示す取り組みのさらなる強化を国に願いたい。

(1) 国民理解の醸成について ※継続

【防災安全部 原子力安全対策課、エネルギー環境部 エネルギー課、教育庁 教育政策課、教職員課 義務教育課／エネルギー政策課】

原子力発電は、国の根幹をなすエネルギー資源の一つであるが、ネガティブなイメージが先行し、国民理解の醸成に影響していると考ええる。

そのため、エネルギーはもとより、原子力発電による経済発展の恩恵を享受してきた国民一人ひとりが「自分事」として捉え、見識を深めることで必要性・重要性の議論を活発化・深化させていく必要がある。

つきましては、国民理解の醸成に向けて立地地域が取り組んでいる下記の事項について、特段のご支援・ご配慮を願いたい。

① 「きいぱす」への支援について

第7次エネルギー基本計画では、エネルギーに関する関心を醸成し、国民理解を深めるには、学校教育の現場でエネルギーに関する基礎的な知識を学習する機会を設けることも重要としている。

こうしたなか、本町のエネルギー環境教育体験館「きいぱす」では、次代を担う子どもたち（小中学生）が原子力やエネルギーについて、自分事として捉え、自ら考え、体験を通して理解を深めることができる体験の場として、町の重要な施策に位置付け事業推進に努めてきた。

つきましては、「きいぱす」が、これまで果たしてきた役割と成果を踏まえ、運用にあたり財政支援や人的支援など積極的なご支援をお願いする。

② 「きいぱす」の機能強化（ビッグきいぱす）への支援について

「きいぱす」では、高校生や大学生、大人世代まで対象を広げ、エネルギーの必要性や重要性等について学ぶことができるよう、機能強化（「ビッグきいぱす」）に取り組んでいる。

GX推進戦略を踏まえた教育プログラムの高度化や、新たなエネルギー開発等の先端技術の紹介、展示など施設機能の更なる充実を図り、未来のエネルギーについても学べる体験施設として充実・強化したいと考えている。

つきましては、これらの取り組みについて、財政支援や技術支援、人的支援など積極的なご支援をお願いします。

③ 新たな試験研究炉との連携による「きいぱす」の活用について

現在、「もんじゅ」サイトを利用して、新たな原子力分野の研究開発や人材育成の中核的拠点となっていくことを目指し、整備が進められている試験研究炉等と「きいぱす」が連携し、新技術等の学習・研究エリア、関連産業エリアとして広く発展できるようご支援をお願いします。

④ 自発的な理解活動への支援について

福井県内の高校生が独自に取り組んでいる「高校生の原子力に関する意識調査」や理解活動は、年々活発化しており、県域を超えた高校へ波及するなど、若い世代が日本のエネルギーや原子力に関し、自ら考え、真剣に向き合おうとする意識が大きく広がり始めている。

こうした若い世代の主体的な取り組みや行動を、まさに機を逸することなく、情報の提供や専門的研修、現地視察など、積極的かつ全面的なご支援をお願いします。

(2) バックエンド対策の着実な推進について ※継続

【防災安全部 原子力安全対策課、エネルギー環境部 エネルギー課／エネルギー政策課】

原子力政策を持続的かつ円滑に進めていくためには、バックエンド問題の解決を図ることが重要な課題の一つである。六ヶ所再処理工場の着実な竣工、中間貯蔵施設・最終処分場の早期確保など、具現化に向けた対策を強力に推進すること。

また、令和7年2月に関西電力が示した新たな「使用済燃料対策ロードマップ」について、全体工程の見える化や定期的な進捗報告もいただけるようになったが、着実に履行されるよう、国が前面に立ち、総力を挙げて取り組むことを国に要請願いたい。

(3) 廃止措置対策について ※継続

【防災安全部 原子力安全対策課／エネルギー政策課】

美浜1・2号機の廃止措置を安全かつ着実に進めていくためには、放射性廃棄物やクリアランスレベルの廃棄物、さらには使用済燃料の搬出および処分が確実に行われることが大前提となる。

クリアランス金属については、原子力リサイクルビジネスの推進に関する包括連携協定の締結など、福井県が全国初の取り組みとして進められていることは、一歩前進であり意義深く感謝申し上げたい。

一方で、放射性廃棄物等の処理については、廃止措置を計画的に推進するため不可欠であることから、国が前面に立ち、総力を挙げて取り組むことを国に要請願いたい。

2 原子力防災対策の充実強化について ※継続

【エネルギー環境部 エネルギー課、土木部 道路建設課：道路保全課／土木建築課】

第7次エネルギー基本計画において、避難道路の多重化・強靱化を始め地域課題の解決については、必要な財源確保に向けた方策の検討・具体化等を含め、先進的な課題への取り組みなど立地地域の実情を踏まえ、進めていく旨、示されました。

こうしたことを受け、先の共創会議において、将来像の工程表に美浜高島間の避難道路の整備が明記されました。

つきましては、本町の安全安心の確保にかかる最重要課題である下記2点について要請する。

(1) 美浜～高島間の道路の早期実現について

本町は嶺南地域において唯一南北に通じる避難道路が整備されておらず、滋賀県境山間部には孤立可能性のある地域を抱えることから道路避難の安全度が極めて脆弱であり地域住民の大きな不安に繋がっている。

そのため、かねてより切望している避難道路の早期実現を図ること。

美浜町新庄～滋賀県高島市間 道路新設 L = 6.3 km C = 190億円

(2) 避難道路・制圧道路の強靱化について

原子力災害時の避難や事故制圧に資する幹線道路は、狭窄部や脆弱な山腹法面を抱え、電柱が林立することから、まさかの時の機能不全が憂慮される状況となっている。

そのため、下記路線に係る強靱化対策を講じること。

ア. 県道松屋河原市線

○狭窄部など道路拡幅、線形改良

・新庄馬場集落内 N = 1箇所

・新庄馬場集落～松屋集落間 1車線→2車線化 L = 2.3 km

○狭窄部、脆弱部の改良

・県道のルート変更

・橋梁整備（水力発電所付近） N = 1箇所

イ. 県道竹波立石縄間線

○無電柱化 水晶浜～丹生集落 L = 3.8 km

○狭窄部改良 水晶浜北端～竹波集落 L = 0.2 km

ウ. 県道久々子金山線

○無電柱化 金山交差点～梅街道 L = 0.8 km

エ. 国道27号

○無電柱化 若狭美浜IC口交差点～金山交差点 L = 6.3 km

3 地域振興について

(1) 立地地域の将来像の実現について ※継続

【エネルギー環境部 エネルギー課／まちづくり推進課、エネルギー政策課】

嶺南地域では大きなリスクを抱えながらも、現在7基の原子力発電所が稼働し、国のエネルギーの安定供給、安全保障に大きく貢献している。

原子力発電所の再稼働に際し、令和7年2月の共創会議で示された「嶺南地域の将来像」において、美浜・高島道路の整備等、立地地域の実情や要請を踏まえた内容が明確に示された。その実行・実現に向け国や事業者、関係機関が連携し、立地目線をもって、財源の確保や所要の協議調整など、強力に推進することを国に要請願いたい。

(2) 核燃料税交付金の配分について ※新規

【総務部 税務課／総務課、エネルギー政策課】

核燃料税及び核燃料税交付金創設の経緯とその趣旨に則り、第11期の制度設計にあっては、立地市町との情報共有を図りながら、事前に十分な協議と調整をお願いしたい。

また、核燃料税交付金の配分について、原子力発電所の廃止措置等が進む立地地域の厳しい経済状況を踏まえ、周辺市町及び嶺南広域行政組合への配分を県の6割分に含め、立地市町への配分を純粋に4割とするよう強くお願いする。

(3) ワット・ビット連携を通じたデータセンターの誘致について ※新規

【エネルギー環境部 エネルギー課／エネルギー政策課】

生成AIの急速な社会浸透に伴い、データセンターにおける電力消費の増加が今後さらに加速すると予想されている。このような状況のなか、データセンターは都市部に集中しており、大規模災害等により多くの施設が一斉に機能停止するリスクが懸念されている。

国は、原子力発電所の立地地域や再生可能エネルギー発電地域への分散立地を促す方針を示しており、大規模災害・安全保障の観点に加え、脱炭素電源による電力供給の重要性も指摘されている。

こうした背景を踏まえ、本町を、ワット・ビット連携を通じてデータセンターを中核とした地域のデジタル基盤・拠点の候補地として採択していただくよう国に要請願いたい。

【重点要望事項の内容】

町では、地域ブランドの確立に向け、三方五湖を核としたブランド戦略を展開するとともに、住民参加型のおもてなし事業や宿泊事業者と連携した旅館民宿の魅力アップ事業等、多様な施策に取り組んでいる。

北陸新幹線敦賀開業を追い風に、観光入込客数や経済効果の拡大に一定の成果を上げているが、町独自の観光アンケート調査の分析では、認知度不足や消費額の低迷、観光施設の安定運営等、多くの課題に直面している。

今後、現状の通過型観光から周遊滞在型観光への転換を図り、持続可能な観光振興と地域全体の活性化を目指すにあたり、次の支援をお願いする。

1 広域連携による観光プロモーションの強化について ※継続

【交流文化部 誘客推進課、インバウンド交流課、観光政策課、嶺南振興局／観光誘客課】

(1) 観光誘客活動の強化について

若狭地域が観光の目的地となるように、県が主体となり、近隣府県を含め関係機関と一体となった広域的・効果的なインバウンドも見据えた観光プロモーションやサイクルツーリズムの推進をお願いする。

【嶺南振興局／観光誘客課】

(2) 持続的な地域波及体制の構築について

「青々吉日 TSURUGA WAKASA」周遊キャンペーンの成果を検証し、持続的に宿泊や食による経済効果が地域に波及し続けるような仕組みの構築をお願いする。

2 周遊観光の充実と利便性向上について ※継続

【嶺南振興局／観光誘客課】

(1) 周遊観光モビリティの導入について

周遊観光を促進するための移動手段として、電動キックボードが有効であるため、三方五湖エリアでの活用ができるよう仕組みを構築していただきたい。

(2) 混雑状況配信システムの機能強化について

観光施設駐車場の混雑状況配信システムについて、混雑状況等がリアルタイムで確認できるように、システム改修するための財政支援をお願いする。

3 観光おもてなしの環境整備・地域資源の保全について ※継続

【嶺南振興局／観光誘客課】

(1) 三方五湖ビジターセンターの整備支援について

三方五湖観光の拠点の一つである美浜町レイクセンターは、令和6年度に策定した経営強化戦略により、持続可能且つ安定的に運営できる収益施設へと再構築することとしている。本施設に、三方五湖の自然・文化資源を軸と展示・体験・発信等、ビジターセンターとしての機能を付加し、地域資源の魅力を深く伝える環境整備への財政支援をお願いしたい。

(2) 浦見川の魅力アップ整備について

三方五湖巡りの名所の一つである浦見川について、歴史的背景をストーリー演出により、感動と発信を生むクルーズ体験が創出できるように、魅力アップするための景観整備をお願いしたい。

4 「観光おもてなし道路」の整備について ※継続

【土木部 道路建設課／土木建築課】

本町は、自然景観に特化した観光地が多く、ドライブやサイクリングなど道路利用者から眺望に対する期待は大きい。

そこで観光地を結ぶ道路を「観光道路」として位置づけ、県と町、地元住民が互いに協力し合い、美しい道路景観を維持保全する必要がある。

特に、美浜駅からレインボーラインを結ぶ県道日向・郷市線の一部区間については、長年にわたり地元住民による花壇の整備など美化活動が行われ、ドライバーやサイクリストなど道路利用者から高く評価されている。

よって、その区間を「観光おもてなし道路」(L=1.6km)として、より魅力的な観光おもてなし道路となるよう次の措置を講じていただきたい。

(1) 道路の定期的な除草及び清掃について

(2) 若狭湾サイクリングルートとしての走行環境整備について

5 嶺南振興プロジェクト事業の強化について ※継続

【嶺南振興局／まちづくり推進課、土木建築課】

北陸新幹線敦賀開業の効果を最大化し、さらには大阪までの早期全線開業に向け、観光地のレベルアップのための景観整備、道路補修事業などを実施し、観光入込客数の増加、地域への経済効果を高めることが重要な時期にある。

しかしながら、県に対し要望している関連事業については、事業採択が極めて小さく、十分でないことから、計画的な整備が進められるよう嶺南振興プロジェクト枠予算および本町割当額の増額をお願いしたい。

【重点要望事項の内容】

本町では、公共交通機関の利用は減少傾向にあるが高齢化が進む中、運転免許返納者が増加しており、身近な生活の足の確保が大きな課題となっている。

本町の生活圏である敦賀市を結ぶ広域路線バスは地域の足として生活を支えてきたが、令和7年度から2路線が1路線となり、その対策が急務となっている。

また、観光面においては、北陸新幹線開業後、敦賀市では観光客が増加し、また、市内の公共交通の利用や観光路線であるゴコイチバスも、認知度が上がり利用者は増加傾向にある。そこで県に対し次の支援をお願いする。

1 広域路線バスに係る国、県の支援について ※継続

【未来創造部 交通まちづくり課、交流文化部 観光政策課、嶺南振興局／住民環境課、観光誘客課】

広域路線バスは国・県補助金、運賃等により運営しており、赤字部分については、関係する市町の補填となっているが、その補填額が年々増加している。

都市部と地方では、人口規模や生活の利便性など様々な点において、地域格差が拡大しており、現行の補助制度では、益々、地方部の疲弊を招くことが懸念される。

このことから、国に対し、地方の課題解決に資する補助制度の改正など、持続的な運行につながる支援措置、また、路線バスの廃線に伴う代替交通の補助制度や路線バスに対する補助制度の拡充・強化について求めているよう願う。

2 観光路線の運行に係る県の支援について ※拡充

【未来創造部 交通まちづくり課、交流文化部 観光政策課、嶺南振興局／住民環境課、観光誘客課】

観光の2次交通となるゴコイチバスについては、利用者も増加している状況であることから、引き続き財政支援をお願いしたい。

また、観光と生活交通機能を併せ持つ路線として利活用を図るべく、若狭線の新たな運行体制を検討しており、指導助言や財政支援をお願いしたい。

3 小浜線のキャッシュレス化について ※継続

【未来創造部 地域鉄道課／まちづくり推進課】

敦賀駅を拠点とする鉄道やバス路線は、JR小浜線を除き全てICOCAが導入され、キャッシュレスでの乗車が可能となっている。北陸新幹線敦賀開業に伴い、首都圏から敦賀へのアクセスが向上し、嶺南エリアへの入込客も増加しているが、キャッシュレス非対応であることから小浜線乗継ぎの大きな支障となっており、評判も極めて悪い。

また、JR西日本により2030年の小浜線の無人駅化が計画されていることから、利便性が著しく低下することが懸念される。

よって、北陸新幹線敦賀開業の効果を最大限に生かすとともに、小浜線利用者の利便性向上のため、I C O C A等のキャッシュレス決済システムの小浜線導入について J R 西日本に働きかけていただくようお願いします。

第二園芸カレッジの整備に伴う交流の創出について 重点 4

【重点要望事項の内容】

1 第二園芸カレッジの整備に伴う交流の創出について ※継続

【農林水産部 園芸振興課／産業政策課】

令和6年3月に策定された福井県農業基本計画『次世代へつなぐ、希望あふれるふくい食・農・環境計画』において、農業人材を育成し、嶺南地域を園芸振興で活性化することを目的として整備が予定されている『第二園芸カレッジ』について、本町の『農業人材育成拠点施設』と密接に連携できるよう、計画段階から町との調整にご配慮願いたい。

また、第二園芸カレッジ整備においては、風光明媚な立地にある「園芸研究センター」、「園芸 LABO の丘」と一体的に活用できる施設とするとともに、更に「園芸 LABO の丘」北側エリアを拡充し、その特性を活かして農業者に限らず、観光拠点として、人が集まるより開かれた農業・観光振興エリアとなるようご検討いただきたい。

【重点要望事項の内容】

1 嶺南医療圏としての機能充実について

(1) 高度急性期の医療の充実について ※継続

【健康福祉部 地域医療課 /健康福祉課】

緊急性の高い脳卒中や心筋梗塞等の救急医療については、公立小浜病院に救命救急センター（ミニ）があるものの、美浜町においては市立敦賀病院等を経由し県立病院等に搬送されており、回復期や急性期に比べ高度急性期の区内完結率が低い。

嶺南医療圏内での高度急性期を含む医療の完結や、緊急性の高い疾患の搬送時間短縮のため、区域内において4大病院（県病、福大、日赤、済生会）並みの医療機能充実を図っていただきたい。

また、嶺南医療圏の医療体制を維持するため、医師や看護師等の医療従事者確保、更には財政支援をお願いする。

(2) 安心して子育てできるための医療体制の整備について ※継続

【健康福祉部 地域医療課 /こども未来課】

疾病や障がい等を理由に、医療圏を越えて専門医へ受診する必要がある乳幼児も一定数存在する。安心して子育てできる環境づくりが喫緊の課題となっているため、第8次福井県医療計画に示されている、公的病院等の役割分担と連携や産科・小児科の体制について検討し、嶺南地域における効率的な医療提供体制を早期に進めていただきたい。

2 レイクヒルズ美方病院への支援について ※新規（若狭町共通）

【健康福祉部 地域医療課 /健康福祉課】

레이크ヒルズ美方病院は療養病床を有し、急性期病院と在宅療養の中間的役割を担う重要な病院である。

地域の中核的な病院として幅広い役割を担っており、地域医療の体制維持に係る病院機能の維持継続のため、高度医療機器（MRI 機器、骨密度測定装置）の更新に必要な財政支援をお願いする。

3 地域医療の充実強化について

(1) へき地診療所の医療従事者確保について ※継続

【健康福祉部 地域医療課 /健康福祉課】

へき地診療所（丹生診療所）への医師の継続的な派遣協力をお願いする。

(2) へき地におけるオンライン診療の継続支援について ※継続

【健康福祉部 地域医療課 / 健康福祉課】

医療資源が潤沢といえない地域では、オンライン診療を活用すべきとの方向性を国が示していることから、住民への継続的医療確保や専門的医療の提供、災害時の医療手段の確保に向け、今後も市町としっかり連携しながら主体的に取り組みを進めていただきたい。

国内最高峰のローイング競技拠点化について

重点 6

【重点要望事項の内容】

1 ローイング競技拠点化に向けた施設整備について ※継続

(交流文化部 スポーツ課、教育庁 保健体育課 / 教育総務課)

半世紀に及ぶ県と町との強力なタッグによる環境整備・普及拡大・競技力向上等の取り組みによって、「ローイング王国福井」「ローイングの町美浜」は、全国から広く注目される競技拠点へと成長を遂げてきた。

次なるフェーズとして「福井県美浜町」を国際基準の競技環境を備えた国内最高峰となるローイング競技拠点とし、「全日本級」さらには「国際級」大会の誘致を図り、交流・関係人口の拡大に向けて取り組んでいくため、引き続きご支援をお願いする。

- ① コース延伸化の着実な完成
- ② 大会運営（2,000m レース）に係る備品等の整備
- ③ スタート地点の環境強化対策
- ④ 大会運営経費に対する支援
- ⑤ レガシー記念館及び合宿施設の整備

【重点要望事項の内容】

1 史実を活かしたまちづくりと地域の伝統文化継承への支援について ※継続

【交流文化部 文化・スポーツ局文化課、嶺南振興局／生涯学習推進課】

地域には、それぞれに長い歴史の中で培われた、芸能・神事等を起源とした伝統文化が継承・定着してきた。それは、地域コミュニティの歴史そのものでもある。

昨年、北前船日本遺産に認定を受けるなど、史実の掘り起こしによる新たな魅力を発信する一方で、地域の歴史的景観、昔ながらの風情を維持するための費用負担も地域に重くのしかかっている。近年は人口減少、少子高齢化の影響から、伝統文化の担い手・後継者不足といった課題をどの地域も抱えている。

掘り起こした史実が失われる懸念がある地域の歴史遺産や伝統文化の保存・継承は喫緊の課題であり、地域における歴史遺産や文化の保全と継承、地域振興の核として活用を図るための幅広く強力な支援をお願いする。

(1) 北前船日本遺産を活用した「史実を活かしたまちづくり」への支援について

今年度、北前船日本遺産登録を機に、地元や行政等が協議会を立ち上げ、日本遺産を活用した地域づくり、地域や町の活性化に努めたいと考えている。

美浜町早瀬集落は、古くは北前船の船主集落として栄えていた集落で日本遺産構成文化財 17 件のうち 8 件を占める文化財が残されている。

早瀬集落には、当時の船主が神社に寄進された子供歌舞伎の山車や山車蔵、当時の面影を残す重厚な神輿、昔ながらの町並み景観等があるが経年劣化が著しい。

これらの地域の取り組みや文化財の保存に対して持続的及び柔軟な財政的支援をお願いする。

(2) 地域の伝統文化の保全と継承について

県指定無形民俗文化財である王の舞（弥美神社例大祭）や精霊船（菅浜区）をはじめ、地域の伝統的な祭礼や文化・芸能の保全と継承のため、担い手不足、後継者育成、修繕・交換費用等の様々な課題の解消に資する幅広い用途による柔軟かつ継続的な支援をお願いする。

(3) 歴史的資源を活かしたヒストリーゾーンの整備について

旧丹後街道沿線のヒストリーゾーン整備に向けて、町史跡（続日本 100 名城）国吉城址や旧丹後街道の宿場町として繁栄した佐柿城下の歴史的景観の保全と活用、国登録有形文化財「旧田辺半太夫家住宅」に関連する門塀の移設、国史跡「興道寺廃寺跡」の史跡整備、旧丹後街道のカラー舗装等歴史的景観の保全や歴史的資源を活かした整備に向けた支援をお願いする。

(4) 歴史遺産を活用した情報発信について

歴史遺産を観光の新たな魅力として PR するための情報発信や、各市町が実施する周知の取り組みへの支援をお願いする。

【重点要望事項の内容】

1 みはまシナプスプロジェクトへの支援について ※新規

(総務部 市町協働課、定住促進課／まちづくり推進課・教育総務課)

美浜町では、町の中心に＜にぎわい＞と＜交流＞を創出するため、「学びと挑戦を育む 人づくり」「優しい回遊空間を創る 空間づくり」「共創の軸線貫く ^{コンテンツ}CONT.づくり」を3本の柱とする「みはまシナプスプロジェクト」に取り組んでいる。

特に「人づくり」においては、小中学生を対象とした県内初の公設塾「放課後教室サン」や高校生の探究学習「学びコミュニティ Kai」を開設するなど、＜学び＞や＜挑戦＞の場を提供する中で、次代を担う子ども・若者の育成と地域愛の醸成を図り、今後はその対象を大学生や社会人、関係人口（本町では「応援人口」という。）に拡大していく予定である。

本プロジェクトの継続と発展のため、次の支援制度の創設をお願いする。

(1) 人づくりプロジェクトへの支援について

町内の小学校では、毎年、地域愛を深める学習の実践として、小学3年生から6年生の子どもたちが地域に出向き、町のよさや課題について地域住民と共に探求、その調査の内容や課題解決のアイデアを発表する「ふるさと元気フォーラム」を開催している。一方、地域内では「放課後教室サン」や「学びコミュニティ Kai」を通じ人づくりの輪を広げている。

更なる＜学び＞と＜挑戦＞を育むには、学校と地域社会との有機的連携を図る必要があり、学校内に地域との架け橋となる「教育コーディネーター（仮称）」設置に向けた人材の確保に係る財政的支援をお願いする。

(2) 応援人口を含めたまちづくりへの支援について

人口減少下における地域づくりの担い手として「関係人口」が注目されている。本町では、本町に関心や愛着をもつ町外者を「応援人口」と位置づけ、「応援人口」の協力を得ながら、住民がしあわせを実感できるまちづくりを進めている。

地域住民の町への誇りや愛着を深める上で、また、応援人口の拡大と関係の深化を図る上で、「シティ・プロモーション」の強化は必須である。

については「人づくり」を中心に地域の魅力を発信する「シティ・プロモーション」強化を図るため、人件費を含めた財政的支援をお願いする。

重要要望事項

【重要要望事項の内容】**1 豪雨・土砂災害対策について ※継続****【土木部 砂防防災課・河川課／土木建築課】**

近年、多発する集中豪雨により全国で河川氾濫や土砂災害が発生している。被害を最小限に抑えるため、対策の実施、継続的な予算の確保についてお願いする。

（１）急傾斜地崩壊対策について

- ① 日向（橋坂山）地区
- ② 菅浜（塩ヶ崎谷）地区

（２）土石流対策について

- ① 丹生（阿弥陀川）地区

（３）法面对策について

- ① 町道北田菅浜線（弁天崎付近）

（４）河川浚渫及び護岸改修について

- ① 耳川における堆積土砂の浚渫、雑木の伐採
- ② 太田川における堆積土砂の浚渫
- ③ 耳川、太田川等における護岸の改修
- ④ 栗柄砂防堰堤（栗柄谷川）の堆積土砂の浚渫

【重要要望事項の内容】

1 道路の整備について ※継続

【土木部 道路建設課・高規格道路課／土木建築課】

地域住民の生活空間における安全安心を確保するため、次の道路整備の早期完成をお願いする。

(1) 県道日向郷市線道路改良事業の早期完成（早瀬・笹田地係、河原市地係）について

①早瀬・笹田地係

②河原市地係

(2) 県道松屋河原市線の歩道整備の早期完成（河原市地係）について

(3) 舞鶴若狭自動車道の4車線化（若狭三方IC～敦賀間）について

農業農村整備事業について

重要 3

【重要要望事項の内容】

1 農業農村整備事業について ※継続

【農林水産部 農村振興課 農地保全整備課／土木建築課】

農業経営の安定と営農効率の向上、地域住民の安全安心の確保及び防災力の向上を図るため、県営による用排水路・農道等、農業基盤の整備事業に対し、継続的な県の予算枠の確保をお願いする。

(1) 中山間地域総合整備事業（一般型）美浜第2地区について

(2) ため池等整備事業（防災重点緊急整備型）山上堤、佐田1号堤地区について

(3) 農道保全対策事業若狭梅街道について

また、次の事業の早期事業採択をお願いする。

(4) 耳川（中寺地区）の連合井堰改修について

(5) 新庄地区ほ場整備について

地域農業の振興に係る支援について

重要 4

【重要要望事項の内容】

1 中山間地域の農業振興に係る支援について ※継続

【農林水産部 中山間農業・畜産課・農村振興課／産業政策課】

美浜町では、中山間地域を中心に農業者の高齢化や後継者不足による耕作放棄地の増加等、今後の農業振興に向けて多くの課題に直面している。

今後も農地を維持し、農業者が安心して農業を継続していける施策について、支援をお願いしたい。

建設発生土の活用について

重要 5

【重要要望事項の内容】

1 北陸新幹線建設事業や舞鶴若狭自動車道4車線化事業に係る建設発生土の活用について ※継続

【農林水産部 農村振興課・未来創造部 新幹線建設推進課・土木部 高規格道路課／産業政策課、土木建築課】

大量の建設残土は、工事区域に近接する農地における大区画圃場整備の嵩上げ用土や住宅団地造成などの公共事業に活用することが経済的、合理的であると考えている。

本町においても、北陸新幹線及び舞鶴若狭自動車道の両建設事業の推進に最大限の協力をしたいと考えており、発生残土量や搬入見込み時期など、常に早い段階での情報共有を図っていただきたい。

畜産振興に向けた総合的な支援について

重要 6

【重要要望事項の内容】

1 嶺南広域の畜産振興に向けた総合的な支援について ※継続（若狭町共通）

【農林水産部 中山間農業・畜産課／産業政策課】

堆肥化施設の運営方針の検討など、今後嶺南エリアにおいて計画的に畜産振興が図られるよう支援をお願いしたい。

【重要要望事項の内容】

1 海岸漂着ごみ対策の支援について ※新規

【エネルギー環境部 循環社会推進課／住民環境課】

毎年、大量の海岸漂着ごみの対応に大変苦慮している状況である。

県においては、年度当初より、予算措置をしていただき夏の観光シーズン前に「美しい浜プロジェクト」での多くの町民等によるボランティアでの回収やシルバー人材センターへの委託においても人海戦術で漂着ごみの回収を行っている。

しかし、人海戦術では、多くの時間や労力が掛かっており、漂着ごみの機械による省力化の回収について模索しているところであり、機械化の回収の情報提供や機械投入に係る財政支援をお願いしたい。